

会 議 名	新潟市総合計画審議会 第2回全体会
開催日時	令和4年9月29日(木) 午後2時から午後3時
会 場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
出席委員	【委員】出席40名、欠席5名 【事務局】政策企画部長、政策調整課長 ほか
主 な 議事内容	<p>(1) 各部会審議概要の報告</p> <p>「新潟市総合計画審議会」素案への要望が答申(案)としてまとめられ、各部会から審議内容について説明があった。</p> <p><報告概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1部会(市民活躍、文化・スポーツ、持続可能な行財政運営) <ul style="list-style-type: none"> ○ 新潟市は先行してパートナーシップ宣誓制度を導入しており、そういう方々も胸を張って活動しているというのは良いことだと思うので、総合計画の中に「LGBTQ」への理解について、盛り込んではどうか。 ○ スポーツを支える環境づくりについて、指導者の外部委託や地域移行などの話が出ており、教育分野や地域などの関連・連携について記載してはどうか。 ○ DXによるスマートな行政の実現において、デジタル化するうえでのリスク管理に対し、市民の不安を取り除くために、より積極的な姿勢を打ち出していくような表現にしてはどうか。 ・第2部会(産業・交流) <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域経済の活性化に資する新たなビジネスの創出支援において、挑戦を促す環境づくりへの取組を記載するとともに、官民連携を含めた地域ネットワークの活用などの要素を加えてはどうか。 ○ 魅力と拠点性を活かした交流の促進について、世界遺産を目指す佐渡市など具体的な記載を加えてはどうか。 ・第3部会(子育て・教育、健康・福祉) <ul style="list-style-type: none"> ○ 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援について、中学校や小学校高学年といった早い時期から教育することを盛り込んではどうか。 ○ 新潟市が先行して医療・介護・福祉のDXを行うことが、拠点化を進めるうえで重要だと思われるため、国や県と連携しながら、さまざまなデータを活用した健康づくりを進めるなど、デジタル技術を活かした施策を盛り込んではどうか。 ・第4部会(安心・安全、まちづくり・インフラ、環境) <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者・子ども・障がいのある方など、誰もがこれまで以上に安心して歩けるようなまちづくりを目指すことを記載してはどうか。 ○ 都心部での緑の不足について、屋上緑化や壁面緑化といった手法を記載してはどうか。

- 自然との共生について、「環境教育を推進し、小中学生はじめ市民に対する環境教育、生物多様性教育を推進し、環境NGOなどと協力し、自然環境に対する知識の普及啓発を高めます。」と記載してはどうか。

(2) 政策調整課長より基本構想・基本計画についての意見・要望の報告

- まちづくりの理念について、里山・里海・里潟といった市民と自然が共生し、田園とともに自然をベースにしたまちづくりを目指していくといった方向性を打ち出したほうが、新潟市の独自性が明確になるのではないかと。
- 人口の将来展望について、市レベルの人口減少が、社会保障に及ぼす影響が大きいことについて示してはどうか。
- 重点戦略について、若者がこのまちに残りたいと思えるよう、魅力的なまちになるというメッセージを打ち出せると、他の施策も生きてくると思う。

(3) 総合計画策定にかかる今後のスケジュールについて

12月議会の議決を経て策定し、令和5年度より次期新潟市総合計画がスタートする。併せて、市民や事業者へ分かりやすく丁寧に情報発信を行う。

(4) 閉会

会 議 名	第4回 新潟市総合計画審議会第2部会（経済活力・交流促進）
開催日時	令和4年9月1日（木） 午前10時から午前11時15分まで
会 場	新潟市役所本館5階 全員協議会室
出席委員	【委 員】出席8名、欠席3名 【事務局】政策企画部長、観光・国際交流部長、経済部長、農林水産部長 ほか
主 な 議事内容	<p>(1) 審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新潟市総合計画答申案について、これまで第2部会で審議した意見を確認した。 <p>(2) 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第2部会で審議した意見への対応（案）として、市の考え方と対応が示された。 <ul style="list-style-type: none"> ・若者の転出超過解消への取組について、「若者の市内就労への意識の醸成、市内企業の認知度向上を促進すること」を追加する。 ・商店街の施策の具体的な方向性について、「世代を超えて人々が集う交流の場を設けるなど、商業機能に加え」を記載する。 ・儲かる農業のイメージに関して、「若者に選ばれ、農業、農村が元気になる」を記載する。 ・国家戦略特区について、タイトルを「スマート農業の加速化」から「国家戦略特区制度の活用」に修正する。 <p>⇒ 委員より、農林水産業の「都市と田園の調和を活かした持続可能な農林水産業の実現」について、新潟市が国家戦略特区に指定されていることをより積極的にアピールした方が良いのではないか、との意見があった。</p>